



オオカワヂシャ

オオバコ科 花期 4～9月
 外来植物〈ヨーロッパ・北アジア〉
 高さ 0.3～1m。地中で横に伸びた根茎から茎を直立または斜めに出す。茎の上部の葉の間から穂状に、直径約 5mm の淡紫色～白色のオオイヌノフグリに似た花をたくさんつける。湿ったところに生え、川辺などで見られる。【特定外来生物】



オオバコ

オオバコ科 花期 4～9月
 葉はすべて根生し、葉の間から 10～20cm の花茎を数本伸ばして、小さな花を穂状にたくさんつける。種子は車前子と呼ばれ、咳止めなどに用いられる。日当たりのよい道ばたや空き地などで見られ、踏みつけに強い。



ヘラオオバコ

オオバコ科 花期 4～8月
 外来植物〈ヨーロッパ〉
 地際から長さ 10～20cm のへら形の葉をだす。葉の間から高さ 20～70cm の花茎を伸ばし、穂状に花をつける。白色の長く伸びた雄しべがよく目立つ。土手や道ばたなどで見られ、最近増えている。



白い雄しべが目立つ花